

case no.45

関西電気工事工業協同組合

「エコぴいサポ」システム導入で組合員同士の仕事情報共有

company profile

創立：1940年（昭和15年） 事業内容：各種保険事業・各種講習会事業・指導事業・福利厚生事業

1. 近畿エリアの電気工事事業者の協同組合
2. 建設業界は、高齢化により組合員が減少傾向
3. 相互扶助の精神で組合員の発展につながる活動を推進

ザクッと言うと **3** ポイント

中央会サポートで組合の活性化を実現

関西電気工事工業協同組合（通称：関電協「かんでんきょう」）は、電気工事業ならびに電気店を営まれる皆様の経営の安定と発展を目的とした協同組合です。

ITを活用し、組合員間での情報共有を活性化させることで、皆様の利益につながる活動に取り組みました。



関西電気工事工業協同組合
大阪事務所の外観

令和3年度連携組織活路開拓調査・実現化事業を知ったきっかけを教えてください。

中央会発行の広報誌に同封されていたチラシを見て知りました。当時組合内部で検討を進めていたシステム導入に利用できるのではと思い、中央会に相談致しました。

システム化において苦労した点はございますか？

ばらばらなアイデアを一つの土台に取りまとめる意見交換や道づくりに苦労しました。Web制作会社さんとも何度も協議を重ね、利便性とセキュリティ、開発と運用のコストのバランスをうまく取るところが難しかったです。

公開後に仕事を「助ける」という言葉の受け取り方が曖昧だったことに気付き、すぐに改修を行ったこともあります。



理事長 原田 智浩氏

中央会担当者によるサポートと、システム導入して良かったことを教えてください

組合の希望する内容をよく聞いて下さった上で、予算に応じた開発が出来るよう、事前に提出資料の作成方法や完成までのスケジュール調整をサポートいただき、初めての申請でも安心して取り組むことが出来ました。導入以前は事務局に個別連絡が入り、人海戦術で対応しており手間も時間もかかった上、再利用できる記録が残らない状態でした。

協力要請する組合員さんの数が客観的にみえるようになったこと、また、その後の直接のやり取りが増えていることが大きなメリットです。

二次的にはどの組合員さんがどんな仕事を専門にしているのか、どんな仕事が世間にあるのか、また業界的にいつ頃が繁忙期なのかを組合員同士でみえるようになりました。組合の新たな魅力の一つとして、新規会員加入に向けた特長のある事業が形になったと思います。

動きだすと細かい改善課題も見えてきているので、良いアイデアがあれば、順次検討を進めている状況です。



関電協仕事支援テラス
「エコぴいサポ」

今後、同様の取り組みを検討される団体様へメッセージがあれば

他の団体さんでも会員さん同士での交流を望む声は一定数あるものと思います。

趣旨に沿ったコミュニティ運営の仕組みが必要だと思います。その手段としてWebシステムやスマホアプリが有効な場合がありますので、システムありきに陥らない範囲で柔軟に検討されることをお勧めします。もし、同様のご相談があれば関電協までお気軽にご連絡ください。



関西電気工事工業協同組合の
みなさんと中央会 阿部 (左)

最後に中央会へのご要望等ございませんか？

この度は、本事業並びに申請のサポートを頂きまして有難うございました。

今後は個々の組合員の業務環境もDXなどによるIT化が必須の課題だと考えます。その際補助金の活用などで予算が低く抑えることが出来ると、組合員の心理的な導入へのハードルも下がるので、引き続きのサポートをお願い致します。

---2023年2月

担当者からひとこと

「活路開拓調査・実現化事業」にて担当させていただきましたが、電気工事という職人の繋がりが仕事で重要とされる業界で、組合がシステムによる仕事応援サービスの展開に踏み出されたことは、大変先進的で面白い取り組みだと思いました。

現在、既に組合員550社ほどが本サービスを利用されていることは、組合が組合員のニーズとIT化の時流を適切に判断されたことによるものだと思います。

今後は組合員同士のビジネスマッチングにとどまらず、仕事における情報共有や意識向上など、更なる付加価値を生み出しながら組合員及び業界の発展、また同様の課題に直面する他の組合の模範として活路を切り開いていきたいと思っています。



担当者：阿部 紳司